

OUTLINE of Shizuoka University Library

静岡大学附属図書館概要



(本館)



(浜松分館)

2014

静岡大学附属図書館概要 2014

目次

図書館長挨拶	1
静大図書館のいま（平成25年度活動状況）	2
〈クローズアップ〉学生協働の推進	3
施設設備	4
1. 平面図	
2. 諸設備	
3. 主要室面積及び座席数	
情報システム	8
1. 情報システムの概要	
2. 電子資料等	
主要コレクション	10
1. 大型コレクション	
2. 特殊コレクション	
3. その他の主要コレクション	
資料統計	12
1. 受入数	
2. 蔵書数	
3. 視聴覚資料数	
4. 分類別蔵書冊数	
5. 図書館経費	
学術リポジトリ	13
1. 資源タイプ別コンテンツ数	
2. ダウンロード件数	
利用統計	14
1. 開館日数等	
2. 入館者数	
3. 館外貸出冊数	
4. ILL文献複写件数	
5. ILL現物貸借冊数	
6. セミナー参加人数	
刊行物等	16
1. 冊子体目録	
2. 定期刊行物・その他	
組織機構	17
1. 機構図・職員配置	
2. 附属図書館委員会委員	
沿革	18
1. 略年史	
2. 歴代館長・分館長	
交通案内／図書館位置図	21
浜松分館長挨拶	23

はじめに

附属図書館長
高松 良幸



『静岡大学附属図書館概要2014』をお届けします。

昨年度から始まった附属図書館浜松分館の改築工事が現在進んでおり、新しい図書館の外観が姿を現してきました。今秋の開館に向け、分館長、図書館職員、関係者の方々とともに作業を進めている最中です。新しい浜松分館は、「Students' PORT構想」の名のもと、学生や大学関係者、浜松キャンパスを訪れる学外の方々が出会い、交流する港の役割を果たすべく、鋭意努めてまいります。また、図書館における学内外の人々の出会いと交流の場としての機能は、静岡本館においても今後ますます拡大していくことを目指しています。

ところで、浜松分館の改築にあわせて、静岡大学未来創成基金に「附属図書館浜松分館整備特定基金」を設け、その機能充実のための資金面でのご助力を、学内外の皆さま方にお願ひ申し上げております。ご寄附をお願ひするに際しては、静岡大学附属図書館のこれまでの活動の実績、附属図書館の現状、今後の活動の見通しを多くの方々にお示しし、ご評価いただくことは必要不可欠です。

この『図書館概要』は、図書館活動の内容を多くの方々からのご評価をいただくための資料として公表するものです。ご寄附の件に関わるだけでなく、多くの方々の目に触れ、さまざまな面で附属図書館の活動に関するご評価を頂戴できましたら幸いです。

なお、「Students' PORT構想」に関しましては、以下のWebページをご参照ください。

「Students' PORT構想—浜松分館改築について—」

<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/top/?s-port>

平成26年 7月

静大図書館のいま (平成25年度活動状況)

浜松分館改築 Students' PORT構想

浜松分館の改築工事が始まりました。
平成26年8月末に竣工予定です。
10月のサービスインを目指しています。



Students' PORT構想が目指すのは、学生たちの〈港〉です。議論や協働作業などの能動的な学びが可能な環境や、その成果を発信できる活動拠点を整備します。そして、快適な学習空間であるとともに、人や物が行きかう〈港〉のように、新たな知識や人と出会う活気あふれる場所をめざします。



浜松分館整備特定基金

静岡大学未来創成基金に、浜松分館設備充実を目的とした「浜松分館整備特定基金」を設置しました。



教育学習支援

1. 図書館セミナー（授業単元）75回を含むセミナー等を120回実施（3,007名が参加）
2. 教員の協力を得て、セミナー内容を刷新
3. 静岡本館ギャラリーで企画展を9回開催
4. ツイッターのフォロワーが1,000人を突破
5. 「静大図書館ハッピーすごろく」を作成・公開



研究支援

1. 拡大電子リソース検討ワーキンググループを設置、学術情報の環境整備に努めています
2. 静大IDにより学外からも電子ジャーナル等が利用できるサービスを開始
3. 本学学術リポジトリ（SURE）の教員登録率が70.5%に



外部評価

外部評価委員5名による評価を受けました。「教員及び支援者等」以外は全て4段階評価の3以上でした。学習支援機能の一層の強化のため専任教員の配置が指摘されました。



〈クローズアップ〉 学生協働の推進

現在、静岡大学附属図書館では、学生が図書館を舞台に活発に活動しています。
ここでは、その様子をご紹介します。

附属図書館利用学生モニターの活動

選書

図書館に入れる本を本屋さんで選書。入れた本は、ポップをつけて展示も。



緑のカーテン

夏場、少しでも涼しく感じられるように。



図書館フェスタ2013

しおり作りのワーク
ショップを開催。



電子リソースの利活用推進ポスター

データベースの利用促進のポスターを学生に作ってもらいました。ポスターは、図書館内外の掲示板に掲示しました。



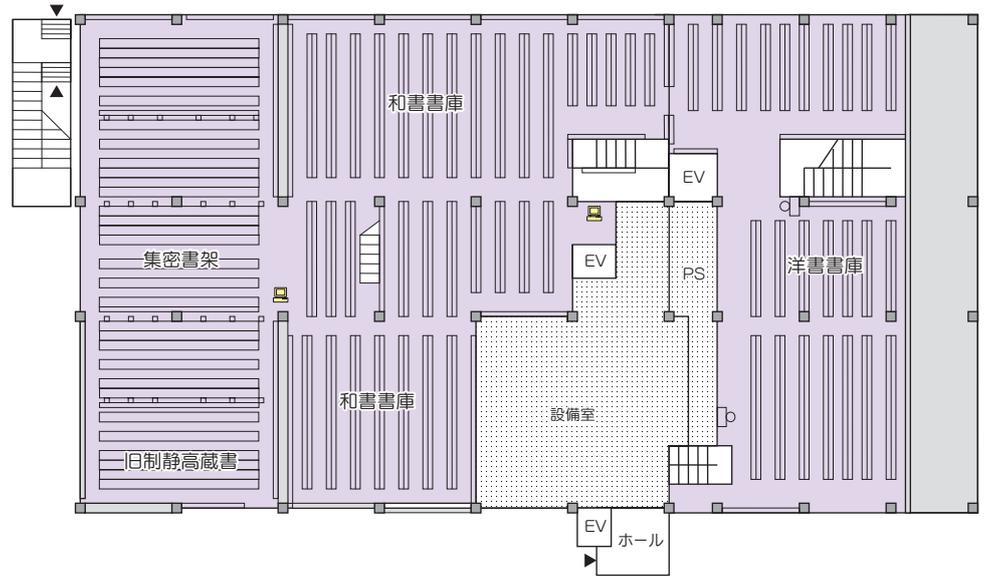


施設設備

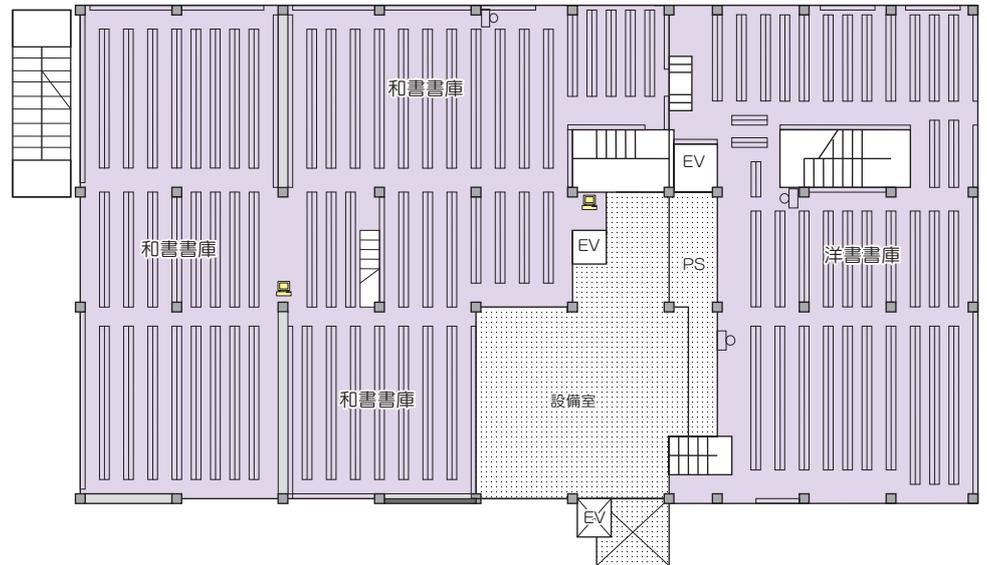
1. 平面図

◆ 本館

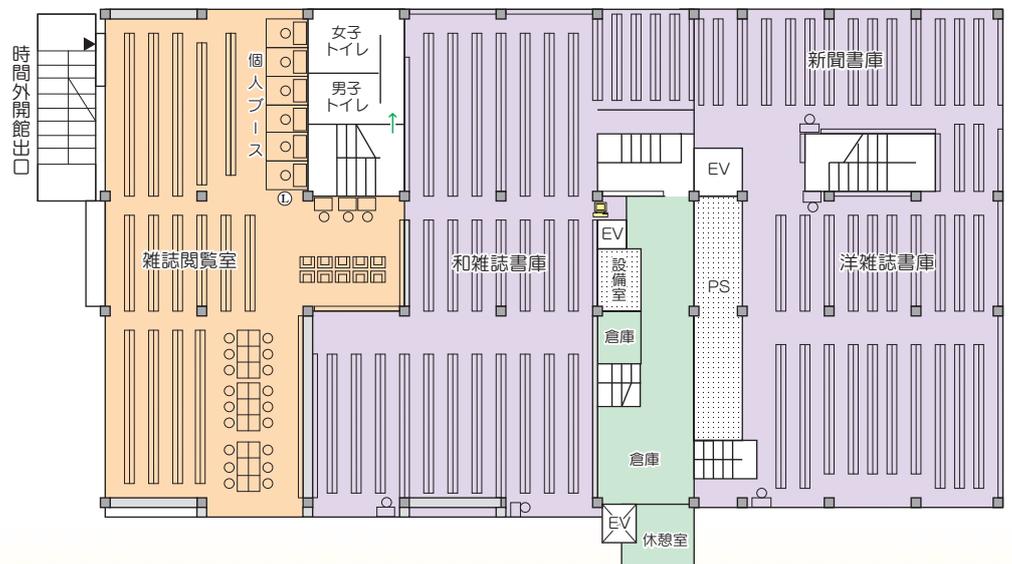
1 階



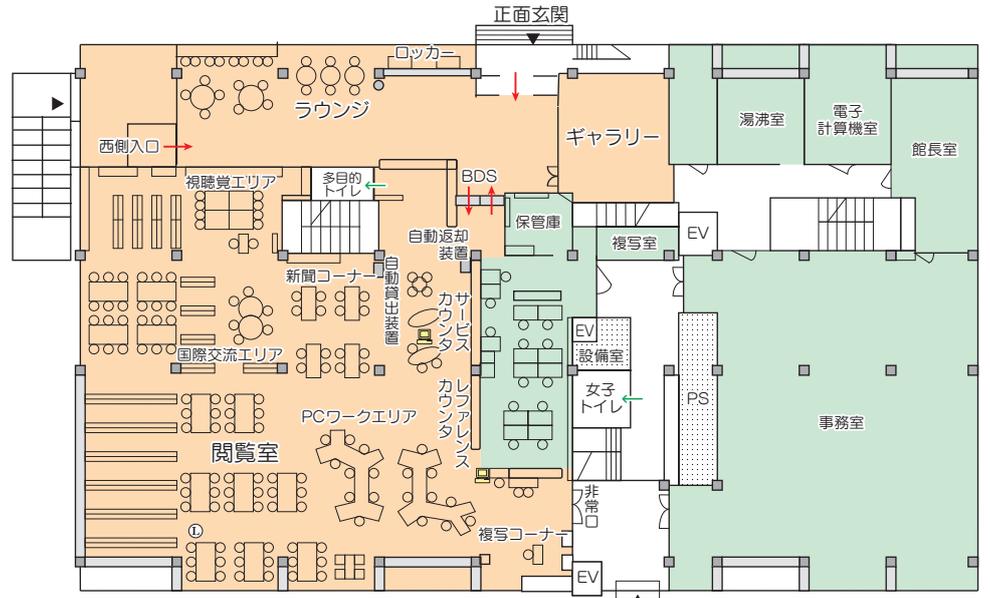
2 階



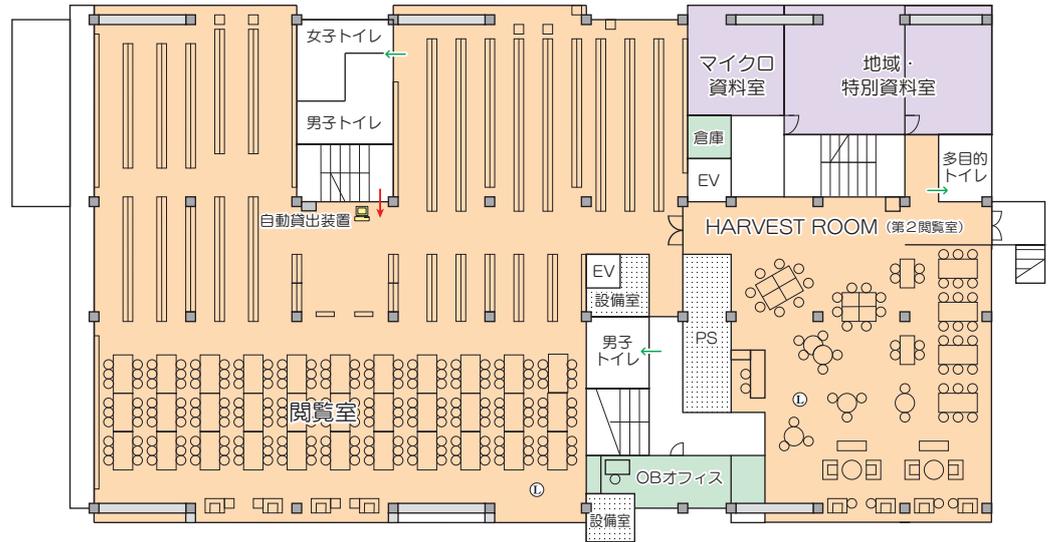
3 階



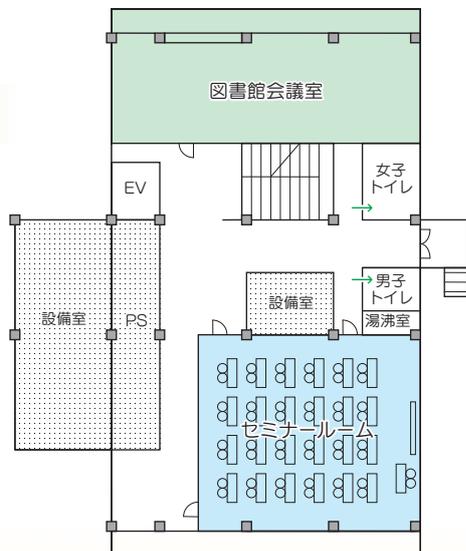
4 階



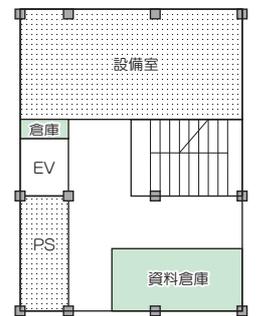
5 階



6 階

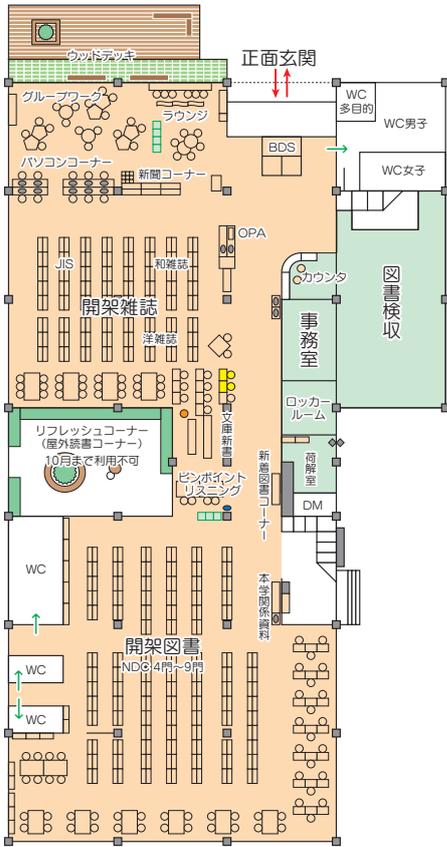


7 階

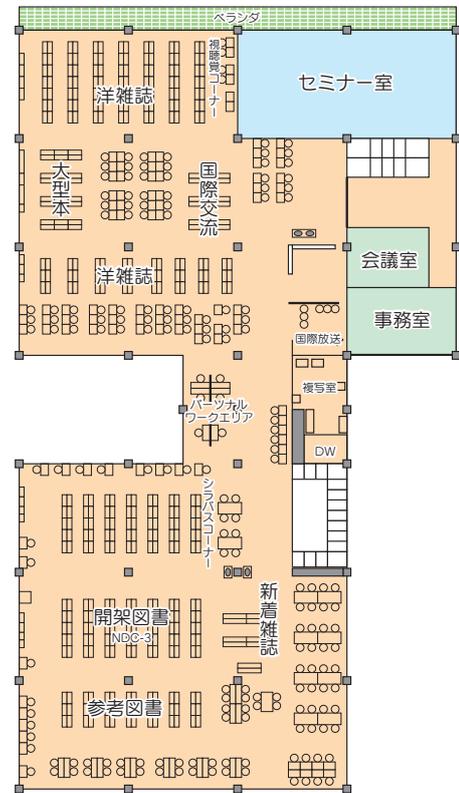


◆ 浜松分館

1 階



2 階



※書庫は、平成26年9月新設予定

2. 諸設備

設備名	本館	浜松分館	計
国際放送視聴設備	1式	2式	3式
カセットテーププレーヤー	1台	1台	2台
ビデオテーププレーヤー	4台	1台	5台
CD・LDプレーヤー	1台		1台
DVDプレーヤー	4台	2台	6台
超指向性音響システム		1式	1式
オーバーヘッドプロジェクター	1台	1台	2台
液晶プロジェクター	2台	3台	5台
コピー機	2台	1台	3台
オフセット印刷機	1台		1台
マイクロフィルムリーダープリンタ	1台	1台	2台
利用者用PC	19台	14台	33台
利用者用シンクライアント	69台	40台	109台
OPAC検索端末	14台	10台	24台
図書館業務用電子計算機システム	1式		1式
ブックディテクションシステム	1式	1式	2式
エレベータ	3基		3基
ダムウェータ		1基	1基

3. 主要室面積及び座席数

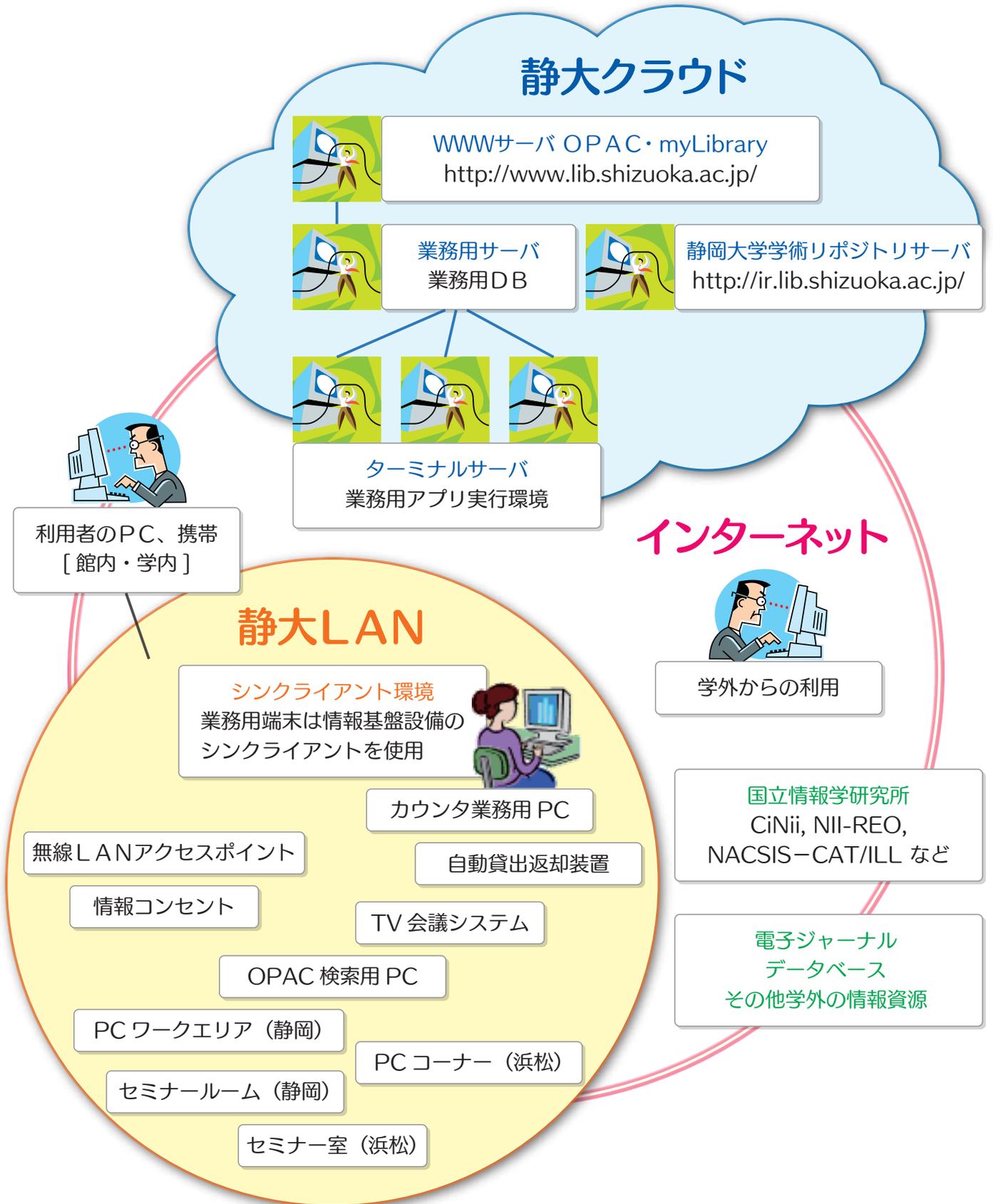
	階数	室名	面積	座席数	備考	
本館	1階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架	
	2階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3		
	3階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	無人入退館システム	
	4階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンタ ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	126 22 20	参考図書、新聞コーナー、PCワークエリア、視聴覚エリア、国際交流エリア 電子計算機室を含む	
	5階 1,503㎡	開架閲覧室 Harvest Room (第2閲覧室) 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書	
	6階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 125 319	48		
	7階 248㎡	書類庫等 その他	43 205			
	本館合計		8,027㎡	534席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊	
	浜松分館	1階 1,049㎡	書庫 開架閲覧室 ラウンジ サービスカウンタ 事務室 その他	0㎡ 689 95 22 69 174	95席 35	開架図書、無人入退館システム グループワークエリア、パソコンコーナー、新聞閲覧コーナー
		2階 1,093㎡	書庫 開架閲覧室 パーソナルワークエリア 国際放送視聴コーナー 会議室 セミナー室 複写室 分館長室 その他	0 781 24 8 20 95 19 30 116	175 6 10 6 32	雑誌、参考図書 国際交流エリア PCワークエリア(兼)
浜松分館 合計			2,142㎡	359席	書架延長 4,090m 収容可能冊数 113,600冊	
合計			10,169㎡	893席	書架延長 31,220m 収容可能冊数 867,225冊	

※浜松分館の書庫は、平成26年9月新設予定



情報システム

1. 情報システムの概要



2. 電子資料等

○電子ジャーナル

- Science Direct (エルゼビア社) ※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 2,343 (バックファイルは概ね1998年から利用可能)
- Wiley Online Linbrary (ワイリー・ブラックウェル社)
利用タイトル数 1,377 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer Link (シュプリンガー社)
利用タイトル数 1,780 (バックファイル1,704誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- American Chemical Society Full Package (アメリカ化学会)
利用タイトル数 44
- Nature (本誌、Nature Digest含む) 1987年～
- Science 1880年～
- JSTOR Arts & Sciences I Archive Collection (経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など
人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学 計174誌のアーカイブ)

○電子ブック

- Cambridge Books Online (購入タイトル153件)
- EBSCO eBooks (購入タイトルと著作権フリータイトル計3,616件)
- Emerald eBook Series (購入タイトル91件)
- ScienceDirect (購入タイトル73件)
* この他に購読モデルのMethods in Enzymology (82件) がある
- Springer Link eBooks (購入タイトル7,042件)
- Wiley Online Books (購入タイトル28件)

○データベース (ネットワーク)

- CiNii (論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース)
- Web of Science (全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース)
- Journal Citation Reports (主要学術雑誌評価データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- SciFinder (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- LexisNexis at lexis.com (国外法律情報文献データベース)
- Lexis AS ONE (日本法および関係文献データベース)
- TKCローライブラリー・ロースクール (国内判例関係文献データベース)
- LLI統合型法律情報システム <法科大学院・人文社会科学部および図書館のみ>
- BOOKPLUS (図書情報検索データベース)
- MAGAZINEPLUS (雑誌論文・記事検索データベース)
- 聞蔵II ビジュアル (朝日新聞記事データベース)
- ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)
- 毎索 (毎日新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベース plus 日経テレコン (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- ジャパンナレッジLib (「日本大百科全書」ほかのネット版)
- ブリタニカ・オンライン・ジャパン (Global Reference Center含む) (ブリタニカの百科事典データベース)
- Oxford English Dictionary Online
- Kenkyusha Online Dictionary
- 日経BP記事検索データベース
- 理科年表プレミアム
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- JSA Library Server (JISの電子版) <浜松キャンパスのみ>



主要コレクション

1. 大型コレクション

文庫名	内容	設置年
◆原家旧蔵江戸後期芸文資料	<p>静岡県駿東郡大平村（現沼津市）の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。</p> <p>この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。</p>	昭和61年度
◆近現代ドイツ資料コレクション	<ol style="list-style-type: none"> 1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.I-63, 1873-1883. 2. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.I-601, 1884-1944. 3. Statistisches Jahrbuch für das Deutsche Reich, Bd.I-59, 1880-1941/42. 4. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.I-70, 1890-1983. 5. Preussische Statistik, Bd.I-305, 1861-1933. 6. Schriften des Vereins für Sozialpolitik (Alte Folge), Bd.I-188, 1873-1939. 7. Schriften des Vereins für Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.I-220, 1949-1993. 8. Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Rechtspflege, Bd.I-4, 1871-1876. 9. Schmollers Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft, Bd.I-68, 1877-1944 10. Acta Borussica:Denkmäler der preussischen Staatsverwaltung im 18.Jahrhundert, 1892-1936 11. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehörden, 1876-1937/38. 12. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.I-55 1890-1967 13. Zeitschrift für die gesamte Staatswissenschaft, Bd.I-85 1844- 14. Preussische Jahrbücher, Bd.I-240, 1858-1935. <p>近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数値的データを得ることができる。</p>	昭和62年度、平成2年度及び平成5年度
◆Le Monde , Dec.1944-Dec.1983 (microfilm)	<p>1944年にパリで創刊された新聞、世界のエリート紙の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。</p>	昭和59年度
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルンシュタイン定数表]	<p>本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行（1994年現在）のうち物性分野は充実している。</p>	本館既蔵書分に平成6年度補強

文庫名	内 容	設 置 年
◆欧米比較政治学 基本資料集成	1. American Journal of Political Science.Vols. 1-39 (1957-1995) 2. Comparative Political Studies. (C.P.S)Vols. 1-29 (1968/69-1996) 3. Comparative Politics. Vols. 1-29 (1968/69-1996/97) 4. European Journal of Political Research.Vols. 1-28 (1973-1995) 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12 (1981-1992) 6. Journal of Politics. Vols. 1-58 (1939-1996) 7. World Politics. Vols. 1-49 (1948/49-1995/96) 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期では、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」がかなりある。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当主重友氏のご好意により1957年に当館に寄贈
◆国際連盟 刊行物資料	第一次大戦後設立された、国際連盟は国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度に文部省の外国図書購入費で購入

3. その他の主要コレクション

- ◆United States decennial census publications、1790-1970 (microfilm)
〔アメリカ国税調査報告書 第1～19回〕
- ◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)
〔アメリカ農務省全出版物〕
- ◆Social and economic development plans、except for Africa (microfiche)
〔世界各国の社会経済開発計画資料集〕
- ◆Aetas Kantiana (reprint ed.)
〔カント時代哲学書復刻シリーズ〕



資料統計

1. 受入数

平成25年度（平成26年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	9,822	1,148	10,970	11,642	1,576	244	1,820	1,757
浜松分館	4,333	241	4,574	5,543	388	54	442	442
合計	14,155	1,389	15,544	17,185	1,964	298	2,262	2,199

2. 蔵書数

平成25年度（平成26年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	670,906	254,075	924,981	936,934	11,278	4,498	15,776	15,857
浜松分館	186,234	97,168	283,402	285,220	2,147	1,851	3,998	3,942
合計	857,140	351,243	1,208,383	1,222,154	13,425	6,349	19,774	19,799

3. 視聴覚資料数

平成25年度（平成26年3月31日現在）

区分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本館	4,178	6,287	962	404	400	675	232	13,138	13,051
浜松分館	200	0	441	138	174	654	24	1,631	1,609
合計	4,378	6,287	1,403	542	574	1,329	256	14,769	14,660

4. 分類別蔵書冊数

平成25年度（平成26年3月31日現在）

区分	本館			浜松分館			合計	前年度計
	和書	洋書	計	和書	洋書	計		
0 総記	52,663	9,117	61,780	13,382	4,172	17,554	79,334	78,764
1 哲学	37,031	20,228	57,259	9,742	1,074	10,816	68,075	68,220
2 歴史	81,024	12,687	93,711	8,170	569	8,739	102,450	100,719
3 社会科学	218,180	73,052	291,232	23,729	756	24,485	315,717	313,098
4 自然科学	79,159	62,569	141,728	49,075	51,918	100,993	242,721	255,426
5 技術	34,512	5,184	39,696	54,798	30,782	85,580	125,276	127,383
6 産業	43,967	8,011	51,978	2,530	152	2,682	54,660	59,281
7 芸術	27,870	4,505	32,375	5,398	410	5,808	38,183	37,793
8 語学	25,996	16,074	42,070	8,334	3,673	12,007	54,077	54,277
9 文学	70,504	42,648	113,152	11,076	3,662	14,738	127,890	127,193
合計	670,906	254,075	924,981	186,234	97,168	283,402	1,208,383	1,222,154

5. 図書館経費

- ◇平成25年度 運営関係経費 78,287千円（前年度 78,813千円）
- ◇平成25年度 図書館備付資料費 146,248千円（前年度 148,967千円）
- ◇平成25年度 その他の経費 11,995千円（前年度 13,446千円）



学術リポジトリ

1. 資源タイプ別コンテンツ数

(平成26年3月31日現在)

区 分	日本語	外国語	計	前年度末計
Journal Article (学術雑誌論文)	1,259	927	2,186	2,134
Thesis or Dissertation (学位論文)	308	76	384	359
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	2,839	143	2,982	2,791
Conference Paper (会議発表論文)	6	5	11	11
Presentation (会議発表用資料)	1	0	1	1
Book (図書)	33	13	46	46
Technical Report (テクニカルレポート)	157	0	157	63
Research Paper (研究報告書)	580	7	587	434
Article (一般雑誌記事)	34	0	34	34
Preprint (プレプリント)	0	1	1	1
Learning Material (教材)	6	2	8	7
Data or Dataset (データ・データベース)	0	0	0	0
Software (ソフトウェア)	0	0	0	0
Others (その他)	343	61	404	404
合 計	5,566	1,235	6,801	6,285

2. ダウンロード件数

※ロボットによるアクセスを除く





利用統計

1. 開館日数等

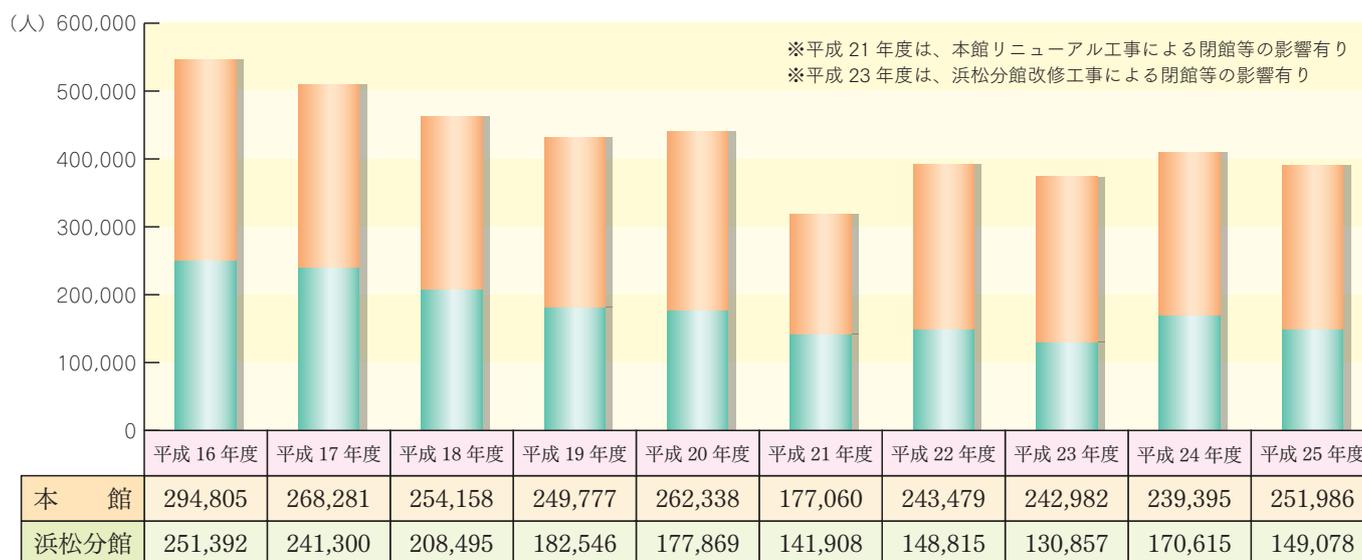
(平成25年度)

(単位：日)

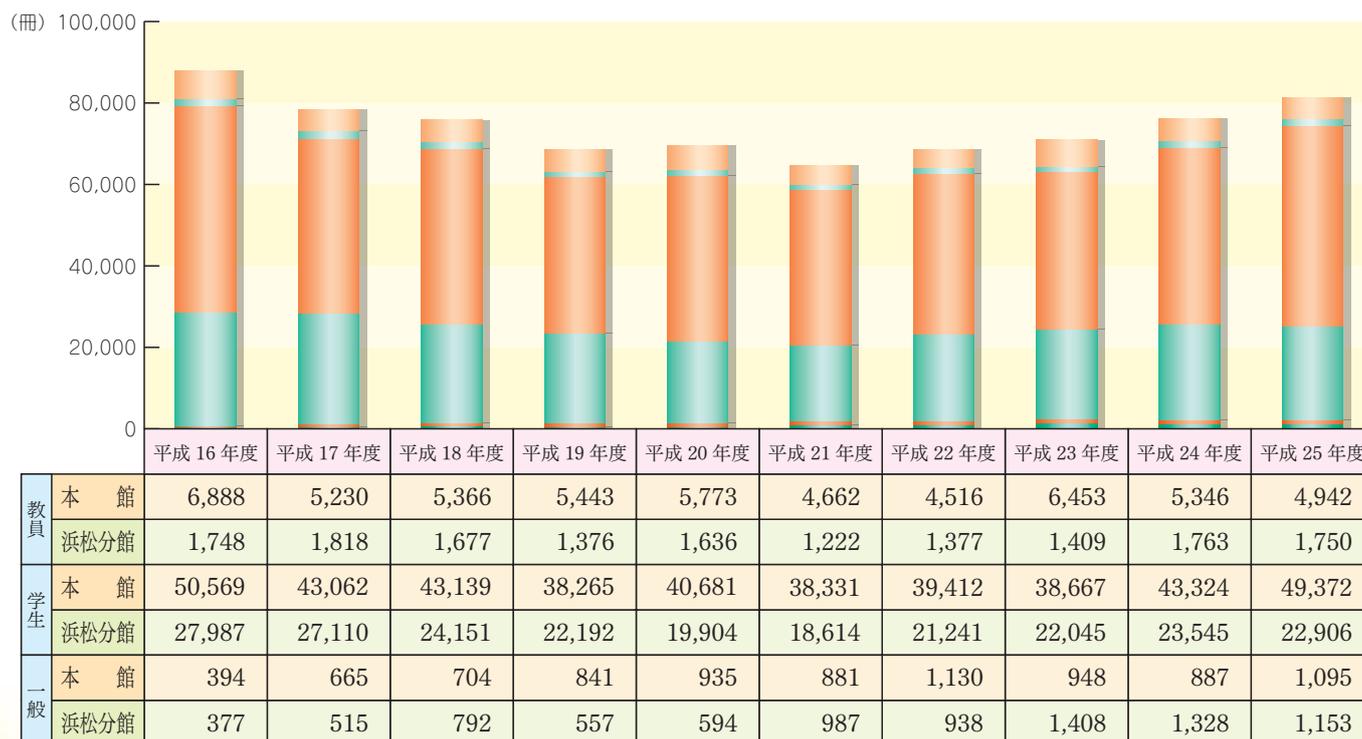
(単位：時間)

区分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土/日・祝	総日数	平日	土/日・祝	総時間数
本館	233	106	339	887	949	1,836
浜松分館	230	106	336	892	947	1,839

2. 入館者数



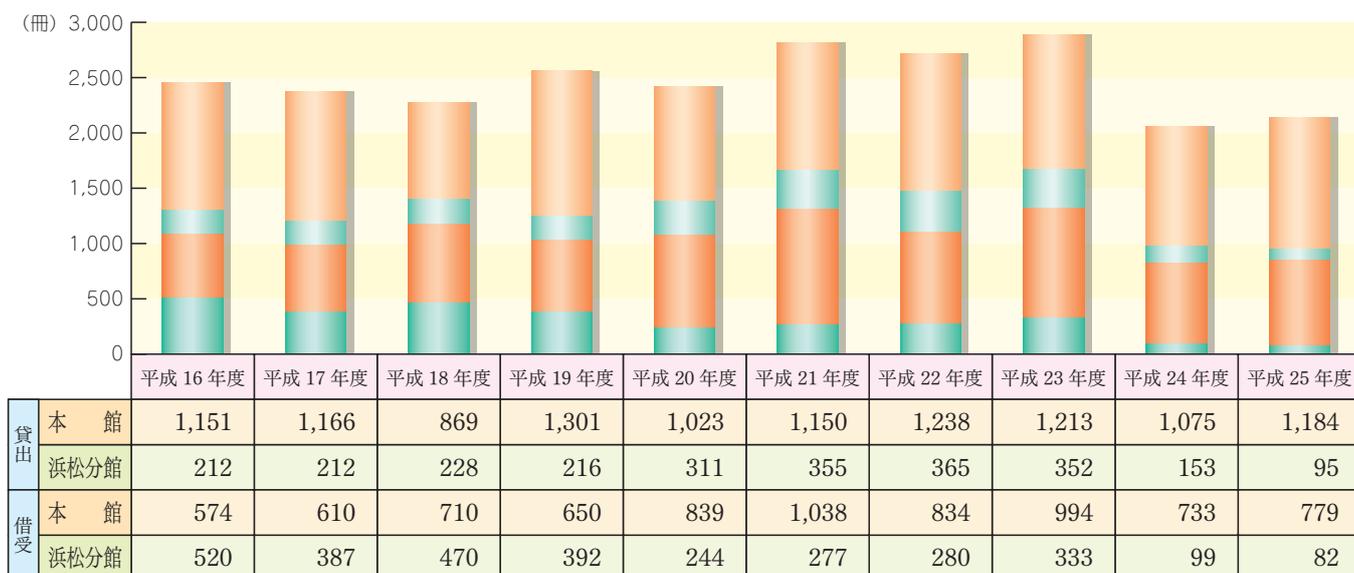
3. 館外貸出冊数



4. ILL（図書館間相互協力）文献複写件数



5. ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数



6. セミナー参加人数

		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		回数	参加人数								
本館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	46	1,265	41	1,265	45	1,249	43	1,195	44	1,219
	図書館利用セミナー（ベーシック編）大学院生向け	2	30	2	23	2	25	2	20	4	60
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	26	536	33	636	32	683	33	681	29	611
	データベース講習会	8	98	7	164	6	76	7	104	5	69
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	32	734	31	744	14	739	27	741	31	728
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	21	95	2	15	—	—	3	110	1	8
	データベース講習会	5	63	3	49	3	72	4	94	3	62



刊 行 物 等

1. 冊子体目録 ※Webでも公開しています。

河井家寄贈新聞目録	1957年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1971年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977年
国際連盟刊行物資料目録 1920年～1946年	1980年
旧制静岡高等学校蔵書と漢書書名リスト	1982年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1986年
小此本文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2000年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002年

2. 定期刊行物・その他

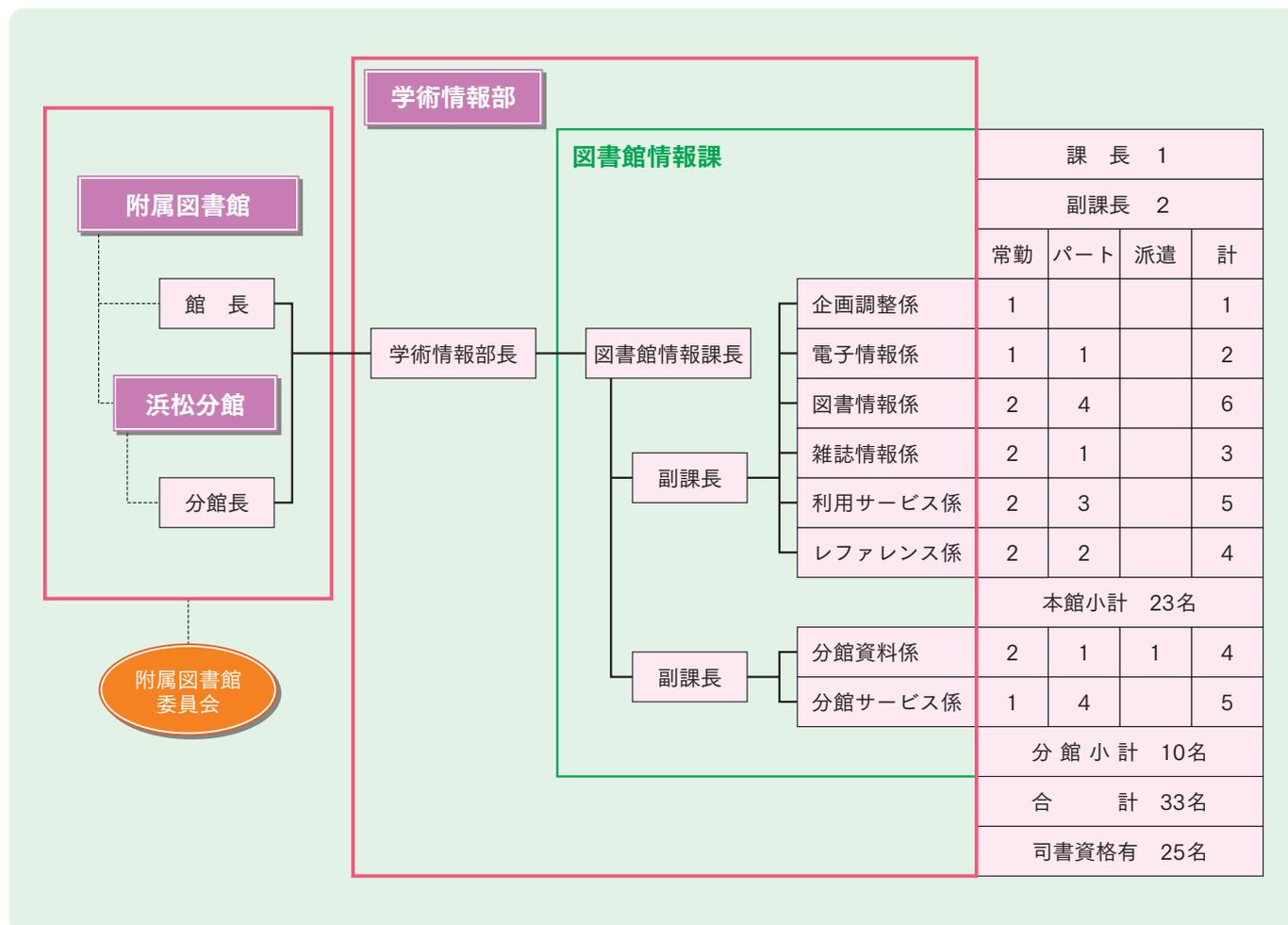
図書館通信（年刊）	1970年～
利用のてびき（年刊）	1974年～2005年
Library Navigator（りぶ・なび）（年刊）	2006年～
静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979年～
としょかんニュース（随時）	1997年～2007年
静大図書館 NewsLetter（随時）	2007年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002年～

静岡大学附属図書館ホームページ <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>



組織機構

1. 機構図・職員配置 ☆平成26年7月1日現在（実数）



2. 附属図書館委員会委員 ☆平成26年度

所 属	職 名	氏 名	備 考
館長（情報学研究科）	教授	高松良幸	委員長
分館長（工学研究科）	教授	梅本宏信	
人文社会科学部	教授	安永愛樹	
教育学部	准教授	坂本真樹	
情報学研究科	教授	柳沢信芳	
理学研究科	教授	鳥居肇	
工学研究科	准教授	厨子光政	
農学研究科	教授	新谷誠吉	
法務研究科	准教授	坂本健織	
大学教育センター	教授	嘉規香織	
事務局	准教授	足達慎二	
	教授	轟泰司	
	教授	平井浩文	広報委員会委員
	教授	石尾賢二	
	講師	松尾由希子	
	学術情報部長	東雅彦	



沿革

1. 略年史

年 月	事 項
1949 (昭24) 6	◇静岡大学創立 (文理・教育・工学の3学部)
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文学部図書館長が中央図書館長併任 (中央図書館職員は事務長1、係員2)
1951 (昭26) 4	◇県立農科大学が農学部 (磐田) となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952 (昭27) 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1955 (昭30) 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1958 (昭33) 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959 (昭34) 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965 (昭40) 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場 (浜松) に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966 (昭41) 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967 (昭42) 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室 (約5,000冊) 開設
1968 (昭43) 3	◇大谷地区に附属図書館の新館 (RC- 5 4,535㎡) が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970 (昭45) 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972 (昭47) 3	◇浜松分館の新館 (RC- 2 1,471㎡) が竣工
1973 (昭48) 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977 (昭52) 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978 (昭53) 3	◇本館増築 (RC- 7 3,061㎡) 竣工
1979 (昭54) 11	◇本館の時間外延長開館 (月～金 20:45、土 16:45まで) を実施
1980 (昭55) 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌 (149タイトル) 本館に集中
1982 (昭57) 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983 (昭58) 3	◇浜松分館増築 (RC- 2 1,035㎡) 竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館 (月～金 20:00、土 17:00まで) を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌 (279タイトル) 分館に集中
1984 (昭59) 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築 (669㎡) 竣工
1986 (昭61) 11	◇図書館業務用電子計算機 (HITAC L470Xシステム) 導入
1987 (昭62) 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988 (昭63) 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始 (開架全図書及び4月以降の新規受入図書)
1990 (平2) 3	◇本館視聴覚コーナー (4階) を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室 (3階) に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991 (平3) 3	◇本館空調設備工事施工 (5階)
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992 (平4) 1	◇本館空調設備工事施工 (3、4階)
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日 (午前) 開館
1995 (平7) 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996 (平8) 3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設 (1999年迄)
1997 (平9) 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998 (平10) 3	◇CD-ROMサーバ導入
◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入	
7	◇本館第2閲覧室 (ハーベストルーム) にパソコン18台を設置

年 月	事 項
1998 (平10) 10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課・学術情報係をシステム管理係と改称して 情報サービス課に所属
1999 (平11) 1	◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
1999 (平11) 3	◇浜松分館AVルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000 (平12) 4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) (試行) ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
2001 (平13) 3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) ◇浜松分館開館時間変更 (月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00) (試行) ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画 (第一次) - 「知と情報のコーディネーター」へ向けての策定
2002 (平14) 2	◇図書館業務用システム (NTTデータ NALIS) 導入
3	◇大学閲覧室の閲覧机・椅子の更新および閲覧室床カーペットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施 (必修科目として正規の単元化)
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施
2003 (平15) 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長
2004 (平16) 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課 (情報管理課・情報サービス課) の組織内変更はなし
2005 (平17) 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館は図書館情報チームとなり、3スタッフ (図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サー ビススタッフ) で構成
2006 (平18) 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、図書館は2課長から1課長2副課長となる ◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん (県内横断検索システム) へ参加
2007 (平19) 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会 (図書コース) 開催
9	◇電子ジャーナル (Nature・Science) 導入 ◇本館第2閲覧室 (ハーベストルーム) 拡張 ◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008 (平20) 4	◇静岡大学学術リポジトリ (SURE) 本公開 ◇チーム名変更 (研究協力・情報図書チームから図書館チームへ)
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009 (平21) 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入 ◇電子データベース (Web of Science) 導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010 (平22) 4	◇本館リニューアルオープン ◇ギャラリー企画展運用開始
2011 (平23) 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館チームは図書館情報課となり、8係 (企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、 レファレンス係、分館資料係、分館サービス係) となる。 ◇浜松分館改修工事竣工
2012 (平24) 2	◇図書館業務用システム (NTTデータ NALIS) 更新
4	◇本館・浜松分館開館時間の変更 (休日の試験対応期間9:00～21:00) (試行)
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結 (金沢大学、静岡大学、名古屋大学)
2013 (平25) 3	◇本館外壁改修工事竣工
4	◇静大ID (学認対応) によるサービス開始 (学外からの電子ジャーナル利用、MyLibrary)
5	◇附属図書館外部評価委員会開催

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏名	学部	在任期間
	富田文雄	文理学部	1949.12.12~1952.12.11
	大室貞一郎	〃	1952.12.12~1954.12.11
	河内清	〃	1954.12.12~1958.12.11
	山田良之助	学長(事務取扱)	1958.12.12~1959.8.31
	山岸五平	教育学部	1959.9.1~1961.8.31
	島谷俊三	〃	1961.9.1~1963.8.31
	宇野慶三郎	教養部	1963.9.1~1965.6.30
	内藤晃	人文学部	1965.7.1~1967.6.30
	兼岩芳夫人	農学部	1967.7.1~1969.6.30
	天野佳人	人文学部	1969.7.1~1971.6.30
	石塚経雄	教養部	1971.7.1~1973.6.30
	上野実朗	理学部	1973.7.1~1975.6.30
	中沢正寿	教育学部	1975.7.1~1977.6.30
	中渡辺安夫	教養部	1977.7.1~1979.6.30
	豊川卓爾	人文学部	1979.7.1~1981.6.30
	細井寅三郎	農学部	1981.7.1~1983.6.30
	大中卓郎	工学部	1983.7.1~1985.6.30
	村博保生	教育学部	1985.7.1~1987.6.30
	森口治生	理学部	1987.7.1~1989.6.30
	水野秀夫	農学部	1989.7.1~1991.6.30
	吉本健一	教養部	1991.7.1~1993.6.30
	小澤康彦	人文学部	1993.7.1~1995.6.30
	久保靖一	工学部	1995.7.1~1997.6.30
	杉田泰一	教育学部	1997.7.1~1999.6.30
	浅井哲也	理学部	1999.7.1~2001.3.31
	大江泰一郎	人文学部	2001.4.1~2003.3.31
	番場公雄	農学部	2003.4.1~2005.3.31
	小和田哲男	教育学部	2005.4.1~2007.3.31
	加藤憲二	理学部	2007.4.1~2013.3.31
	高松良幸	情報学研究科	2013.4.1~

浜松分館長	氏名	学部	在任期間
	市川常男	工学部	1965.4.1~1976.3.31
	松本欣二	〃(事務取扱)	1976.4.1~1976.4.30
	井本文夫	〃	1976.5.1~1980.3.31
	大月卓郎	〃	1980.4.1~1983.6.30
	藤田郁夫	〃	1983.7.1~1987.6.30
	大山襄	〃	1987.7.1~1989.6.30
	藤田郁夫	〃	1989.7.1~1991.6.30
	清水孝仁	〃	1991.7.1~1995.6.30
	石井仁夫	〃	1995.7.1~1997.6.30
	渥美邦夫	〃	1997.7.1~1999.3.31
	岡村静致	〃	1999.4.1~2001.3.31
	鎌田哲宏	情報学部	2001.4.1~2003.3.31
	市川宏朗	工学部	2003.4.1~2004.3.31
	野銅享彦	〃	2004.4.1~2005.3.31
	雨中正伸	情報学部	2005.4.1~2009.3.31
	高島治幸	工学部	2009.4.1~2011.3.31
	高松良幸	情報学部	2011.4.1~2013.3.31
	梅本宏信	工学研究科	2013.4.1~



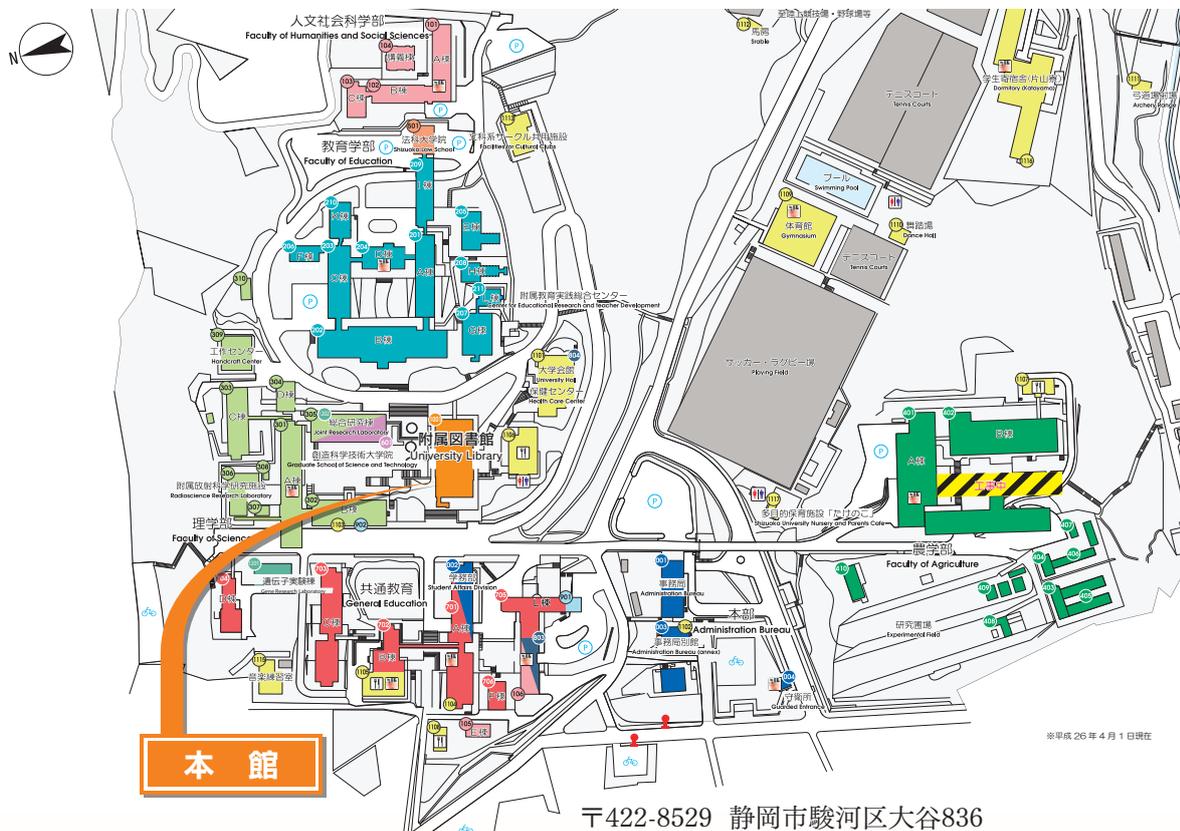
交通案内・図書館位置図

静岡キャンパス交通案内



1. JR静岡駅北口のしずてつジャストライン8番乗り場から【静岡大学行き又は東大谷行き】に乗車し、「静岡大学」又は「静大片山」下車（所要時間約25分）
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

静岡キャンパス校内マップ



〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 TEL : 054-238-4474 FAX : 054-238-5408
 E-mail : olibrary@ipc.shizuoka.ac.jp

浜松分館新装オープンに寄せて

静岡大学附属図書館浜松分館長
梅本 宏信



国立大学に勤務する者としては誠に残念なことであるが、最近、国立大学と私立大学の両方に合格した場合、私立大学に進学してしまう受験生が少なからずいるらしい。もちろん授業料は国立大学の方が安いし、研究設備や教育スタッフで私立大学に負けているとは思えない。では、なぜ、私立大学に流れてしまうのであろうか。どうも、その理由のひとつに「国立大学はきたない」というものがあるらしい。

確かに、最近の私立大学の中には、一流ホテルのロビーかと思えるような施設を有しているところもある。それに対して、多くの国立大学は、「優れた研究こそが最良の教育である」とか「いい講義さえしていれば、優秀な学生は自ずと集まってくる」とかいう殿様商法的発想から抜け切れていない節がある。もちろん、かつてに比べれば国立大学もきれいになった。トイレも、以前の「きたない」「くさい」「くらい」というイメージからは脱しつつある。しかし、残念ながら浜松キャンパスには、シンボリック施設がなかった。

このような状況の中で、老朽化した図書館分館ならびに事務棟の建て替え計画が文科省から認められた。そして、これは同時に「多少の贅沢はしてもキャンパスの目玉となる施設にしよう」というプランニングの始まりでもあった。ただし、贅沢品を国民の税金で買うことには誰も抵抗がある。そこで、卒業生や地元企業の方々をはじめ、多くの方々から浄財を募ることになった。

新図書館に設置されるフリーラウンジやグループワークエリアの什器などは、この寄付金によって購入されるものである。利用者の皆様には、学内外の多くのサポーターの皆様からのご支援の賜物であることを心に留めつつ、積極的にかつ有効に活用していただきたい。なお、10月に完成するのは、「建物と什器」というハードだけである。どんなに立派なハードであっても、ソフトがなければ機能しない。今後は、ぜひ利用者の皆様のご意見を伺いつつ、ソフト面の充実を図っていきたい。

静岡大学附属図書館概要 2014

平成26年7月発行

編集・発行 静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836番地

Tel : 054-238-4474

Fax : 054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>